

授業科目 基礎看護技術演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
石塚 敏子、佐藤 信枝、川崎 久子、 高橋 智美		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
対象に応じた看護を実践するために必要な日常生活の基本的知識・技術・態度を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 看護技術の原理原則である安全・安楽・倫理的配慮の重要性について述べるができる。 2. 各看護技術の適用と効果を述べるができる。 3. 各看護技術の原理原則を踏まえた実践ができる。 4. 対象に応じて基本的看護技術を変化させていく必要性について説明することができる。 5. 模擬患者体験を通して、援助を受ける側の身体的・心理的影響について考察することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1. 看護技術とは、演習ガイダンス（1）			1	講義
2	1. 看護技術とは、演習ガイダンス（2）			1	講義
3	2. 生活環境に関する看護技術（1）			1～6	講義
4	2. 生活環境に関する看護技術（1）			1～6	講義
5	3. 活動・休息に関する看護技術（1）			1～6	講義
6	3. 活動・休息に関する看護技術（2）			1～6	講義
7	4. 安楽に関する看護技術（1）			1～6	講義
8	5. 清潔・衣生活に関する看護技術（1）			1～6	講義
9	5. 清潔・衣生活に関する看護技術（2）			1～6	講義
10	5. 清潔・衣生活に関する看護技術（3）			1～6	講義
11	5. 清潔・衣生活に関する看護技術（4）			1～6	講義
12	6. 排泄に関する看護技術（1）			1～6	講義
13	8. 排泄に関する看護技術（2）			1～6	演習
14	<演習>ボディメカニクス、臥床患者のシーツ交換（1）			1～6	演習
15	<演習>ボディメカニクス、臥床患者のシーツ交換（2）			1～6	演習
16	<演習>食事介助（1）			1～6	演習
17	<演習>食事介助（2）			1～6	演習
18	<演習>体位変換、移送（車椅子移送、ストレッチャー移送）（1）			1～6	演習
19	<演習>体位変換、移送（車椅子移送、ストレッチャー移送）（2）			1～6	演習
20	<演習>寝衣交換			1～6	演習
21	<演習>全身清拭（1）			1～6	演習
22	<演習>全身清拭（2）			1～6	演習
23	<演習>洗髪（1）			1～6	演習
24	<演習>洗髪（2）			1～6	演習
25	<演習>陰部洗浄、足浴（1）			1～6	演習
26	<演習>陰部洗浄、足浴（2）			1～6	演習
27	<演習>糞法			1～6	演習
28	<演習>便・尿器の使い方、洗腸（1）			1～6	演習
29	<演習>便・尿器の使い方、洗腸（2）			1～6	演習
30	《技術試験》			3	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎看護技術Ⅰ 系統看護学講座専門分野Ⅱ	基礎看護学 [2]	茂野 香おる他	医学書院	2011・2,600円＋税
	基礎看護技術Ⅱ 系統看護学講座専門分野	基礎看護学 [3]	藤崎郁他	医学書院	2012・2,900円＋税
参考書	実践へのフィードバックで活かすケア技術のエビデンス	基礎看護技術	深井喜代子監修 阿曾洋子他	へるす出版	2006・4,200円＋税
	ナーシンググラフィカ18 基礎看護学 基礎看護技術	基礎看護学 基礎看護技術	川村佐和子編、志自岐康子編、松尾ミヨ子編	メディカ出版	2011・3,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況・演習レポート（10%） 技術試験（20%） 筆記試験（70%）		1. 演習への参加は必須であり、積極的に取り組むこと。 2. 事前学習を行い、ビデオその他の副教材も活用し、繰り返し演習することが望ましい。 3. この科目は、基礎看護学実習Ⅰを履修するにあたっての前提科目となる。			